

記事の書き方

文 編集部 ほげ

1 まずはじめに

1.1 デフォルトオプション: $\text{p}\text{L}\text{A}\text{T}\text{E}\text{X}$ を使う

article_name は適当な名前として、以下のようなコマンドでブランチを分けましょう。

```
1 git submodule update --init
2 git checkout -b personal/username/article_name
3 cd ./articles
4 cp -r ./hinagata ./my-article-name
5 cd ./my-article-name
6 autoconf
7 ./configure
```

1.2 選択: $\text{L}\text{u}\text{a}\text{L}\text{a}\text{T}\text{E}\text{X}$ を使う

WORD では新たに $\text{L}\text{u}\text{a}\text{L}\text{a}\text{T}\text{E}\text{X}$ が使えるようになりました。使い方は、`./configure` のかわりに `./configure --enable-luatex` としてください。

2 記事を書く

記事を書いたら、`make` コマンドでビルドできます。

```
1 git add *
2 make
```

これで `main.pdf` が生成されれば成功です。あとは `main.tex` を編集すれば記事が出来ます。

3 Git サーバに push する

記事のキリの良いところで `git push` するといいいのですが、最初の `push` の時には、`origin`^{*1} に新しいブランチを登録する必要があります。それは以下のようにしましょう。

*1 ここでは Git サーバである `gitolite.word-ac.net` のことです

```
1 git push origin personal/username/article_name
```

push を成功させた場合には、ビルドの結果が slack^{*2} の #jenkins チャンネルに流れます。slack を見ていない場合は、<https://jenkins.word-ac.net/job/LaTeX/> および <https://gitiles.word-ac.net/> を見ると良いでしょう。

4 トラブルシューティング

4.1 偶数頁

編集作業をしていると、レイアウトの問題で偶数頁から開始していただくことがあります。その場合の対処法は、 \TeX の処理系によって以下のように異なります。

platex を使う場合

その場合は、プレアンプルに以下を追加してください。

```
1 \setcounter{page}{2}
```

LuaLaTeX を使う場合

`\documentclass` のオプションに `swapheader` をつけることで簡単にできます。

```
1 \documentclass[swapheader]{word-lua}
```

5 鍵の登録

Git サーバに鍵を登録しないと、push できません。もしそれが原因でつまっている場合には、誰か権限を持っていそうな人に頼んで登録してもらいましょう。2016 年 6 月現在では、pi8027, yyu, ioriveur, shrinkbr, osyoyu, chris, nymphium が部員を登録できます。鍵が変わった場合も声をかけましょう。

6 他の問題について

問題があれば slack の #latex チャンネルや、編集会議で聞くと良いでしょう。

直接詳しい人に SNS で聞く場合、@_yyu^{*3} へ投げると早い。word-lua に関しては @Nymphium^{*4} か @azuma962^{*5} へ。

^{*2}<https://word-ac.slack.com>

^{*3}https://twitter.com/_yyu

^{*4}<https://twitter.com/Nymphium>

^{*5}<https://twitter.com/azuma962>